

2025  
7月

# 月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 251 号-①【基準日 2025 年 6 月 30 日】



## 🌸 社長メッセージ



### 将来に向けて今出来ること

ありがとう投信株式会社  
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。7月に入り連日暑い日続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？ 熱中症にならないように皆さまくれぐれもご自愛ください。

さて、先月の世界の株式市場は中東情勢の緊張が高まって相場の重石になる局面もありましたが、イスラエルとイランの停戦合意を受けて、月後半には米国株を中心に大きく上昇した1ヶ月となりました。

米中の貿易交渉の進展を巡って様子見姿勢の強い相場展開が続く中で、中旬にはイスラエルとイランの間の戦闘で緊張が高まり、中東情勢の悪化懸念が相場の重石となりました。その後、イスラエルとイランの停戦合意による緊張緩和が好感されて、株式市場は米国株を中心に上昇しました。特に米国株はハイテク株が相場を牽引して主要株価指数であるナスダックやS&P500が史上最高値を更新して1ヶ月を終えました。日本株も世界的な半導体関連株の上昇を受けて日経平均株価は大きく上昇し、40,000円の大台を回復しました。

為替相場については、ドル/円は先月とほぼ変わらずの1ドル144円台であった一方で、ユーロ/円は169円台まで円安が進みました。

そのような中で、ありがとうファンドは月間で+3.6%の上昇となりました。米国株や新興国株の上昇の恩恵を受ける形となりました。



今後の見通しですが、トランプ大統領のアメリカファーストの経済ナショナリズム政策によって世界経済が混乱する可能性は依然として少なくないものの、最近では徐々にマーケットもトランプ大統領の政策や極端な発言にも慣れてきて、過剰反応しなくなってきたように思われますが、先行き不透明な状況は変わりませんので、トランプ大統領の関税政策及び各国との貿易交渉や中東情勢等の行方に注目が集まるボラティリティの高い相場展開がしばらく続きそうです。

そのような中で、ありがとうファンドでは、引き続き様々な国・地域に国際分散投資をしてリスクを分散しながら、世界経済と企業の成長の恩恵を享受するとともに、地政学リスクやイベントリスク、インフレリスクへのヘッジとして金(ゴールド)への分散投資を継続することでダウンサイドリスクを抑制していきたいと考えています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## 将来に向けて今出来ること

日本は経済が30年間停滞して、出生数はコロナ禍以降激減し、死亡者は急増して人口減少が加速する中、先進国の中で実質賃金がほとんど上がっていない唯一の国になってしまいました。

既に衰退国になってしまっているというのも大袈裟な話ではなく、インバウンド旅行者の増加は海外から見ると日本はあらゆるものが安いという現実を表しているとも言えます。そして、オーバーツーリズムや不法移民問題、規制が緩いため外国人による不動産の買い占め問題などにも繋がっていきます。

一方で、少子高齢化による社会保障費の増加などにより、税と社会保険料を合わせた国民負担率は50%に迫る水準になっていて、働いて得た給料の半分は国に持っていかれているのが現状です。(1年の半分は国のために無給で働いているようなものです)



このように、日本社会には様々な課題や問題がありますが、このような国になってしまった要因の一つは今まで政治に関心を持って来なかった私達自身の責任であるとも言えます。

今月20日に参議院選挙がありますが、国民の義務として、まずは投票に行くことが大切ではないかと思います。自分の一票や一回の選挙結果で、すぐに国や政策が変わったり、日本が抱えている課題が解決されるほど簡単なものはありませんが、無関心やどうせ自分が選挙に行っても変わらないと思って何もしないのは現状を追認することになるので何も変わりません。

将来に向けて私達に今出来ることは、国や社会の一員として世の中のことに関心を持って行動すること、自分に与えられた目の前の仕事や役割に一生懸命に取り組むこと、将来に対して過度に不安にならずに何とかなると前向きに考えていくことだと思います。そして、将来に備えて給料や余裕資金の一部を投資に回して資産運用していくことが大切になってくると思います。

資産運用においては分散投資することが重要であることに変わりはありません。国や地域の「国際分散」と資産クラスや投資対象・銘柄、通貨等の分散の「資産分散」、購入タイミングを分けて継続的に投資していく「時間分散」を組み合わせて長期投資をしていくことで、リスクを抑えながら長期的な資産の成長を目指していくことが資産運用で成功するための王道であると考えます。

今後もありがとうファンドは、お客さまから託されたご資金を長期投資で世界経済及び企業利益の成長の恩恵を長期で享受できるように国際分散投資をするとともに、地政学リスクやイベントリスク、インフレリスクに備えて金(ゴールド)にも投資することでダウンサイドリスクを抑えながら安定した運用成果の提供を目指して運用を行って参ります。弊社ではこれからもお客様の資産運用を成功に導く伴走者として一生涯サポートできるよう精進して参りますので、引き続きありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



## ★ 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

### 「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



### ①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

### ②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場が良い時も悪い時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



### ③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



**タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！**

期間	平均取得単価	損益
1年	36,308円	+4.2%
3年	30,645円	+23.5%
5年	27,953円	+35.3%
10年	21,179円	+78.6%
初回(2004年10月)から	13,539円	+179.4%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	12万5044円
3年	36万円	44万4454円
5年	60万円	81万2094円
10年	120万円	214万3684円
初回(2004年10月)から	249万円	695万8202円

2025年6月30日現在(基準価額:37,834円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。  
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。  
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

## 🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！  
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。

### 長い間、放置している口座はありませんか？ — 「休眠預金」とは

学生時代に家族が開設してくれた口座、アルバイト先で指定された口座、家賃引き落としのために一時的に作った口座など…開設したものの、全く使っていない口座はありませんか？「残高も少ないし、解約手続きが面倒」とずっと放置していませんか？その口座、もしかしたら「休眠口座」になっているかもしれません。

政府広報オンラインによると、10年以上取引がない預金は毎年1,200億円程度発生しているそうです。そのような放置された「休眠預金」について、また放置している口座に潜むリスクについて解説します。



#### 放置された預金「休眠預金」とは？

「休眠預金」とは10年以上取引(入金や出金など)がない口座の預金のことです。

休眠預金になったからといって、預金そのものがなくなってしまうわけではありません。金融機関の窓口で必要な手続きをすれば、いつでも引き出すことができます。

#### 「休眠預金」の対象となるものは？

銀行、郵便局(ゆうちょ銀行)、信用金庫の普通預金・定期預金・定期積金などが対象になります。一方、外貨預金や仕組預金、財形貯蓄などは対象外です。

図表1 休眠預金の対象になる預金、対象にならない預金(主なもの)

対象になる	対象にならない
普通預金、通常貯金	外貨預貯金
定期預貯金、定額貯金、定期預金	仕組預貯金
当座預貯金	財形貯蓄
貯蓄預貯金	

出典:政府広報オンライン“放置したままの口座はありませんか？10年たつと「休眠預金」に。”

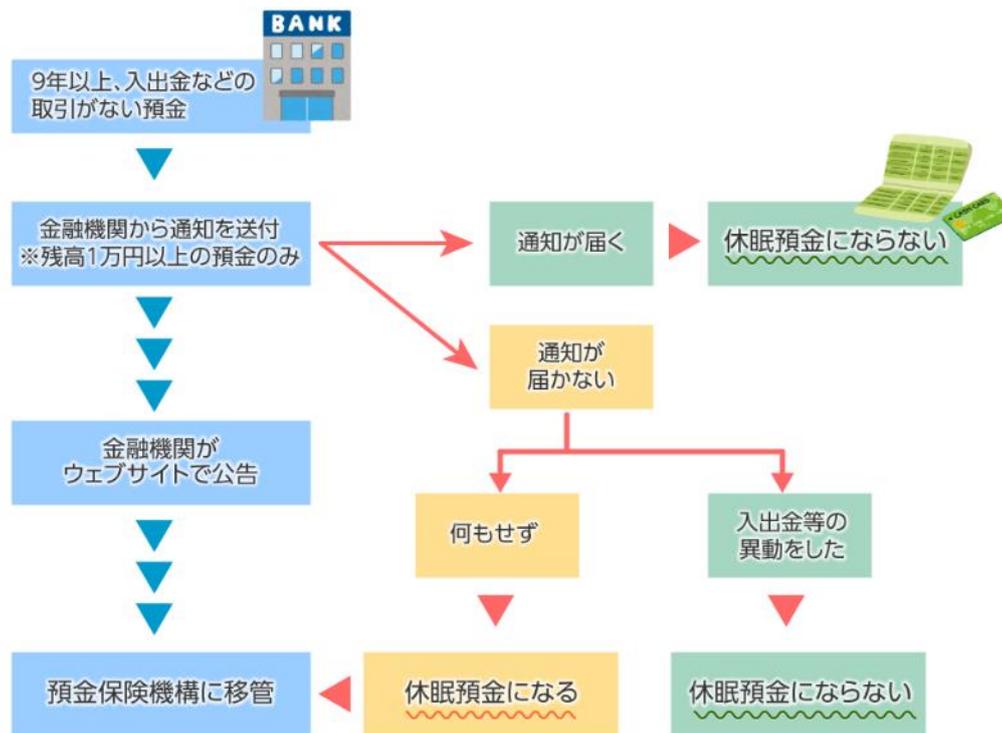
<https://www.gov-online.go.jp/article/201907/entry-7475.html>

## 「休眠預金」になるまでの流れ

最後の取引(入出金など)から 9 年以上が経過し、休眠預金になりそうな預金があると、預けてある各金融機関のウェブサイトで公告が行われます。

預金残高が 1 万円以上の場合、金融機関が通知を登録している住所に郵送、もしくは登録メールアドレスにメールにて送信します。通知が届けば休眠口座にはならず、引き続き通常どおりの預金として取り扱われます。

ただし、預金残高が 1 万円未満だと通知は送付されません。また、残高が 1 万円以上でも、住所やメールアドレスが変わっていて通知が届かず、何もしないと休眠預金になってしまいます。



出典:政府広報オンライン“放置したままの口座はありませんか?10年たつと「休眠預金」に。”

<https://www.gov-online.go.jp/article/201907/entry-7475.html>

## 「休眠預金」になると、どうなるの？

10年間取引などがなく休眠預金となったお金は、「休眠預金等活用法」に基づき、預金保険機構に移管され、その後、社会課題の解決に取り組むNPO法人などの民間団体への支援に活用されます。

なお、休眠預金になった後も、取引のあった金融機関へ通帳やキャッシュカード、お届け印、本人確認書類を持って手続きをすれば、いつでも「元本 + 利息」が引き出せます。引き出しに期限は設けられていません。ただし、ATMで通帳やキャッシュカードが使用できなくなる可能性があります。金融機関の窓口で手続きをする必要があり、時間がかかることが多いようです。詳しくは各金融機関に確認しましょう。

## 銀行口座を放置した場合のリスク

### 口座手数料が発生する場合がある

金融機関によっては、一定期間取引のない口座に対して口座管理手数料が発生することがあります。口座残高が数百円しかない場合、手数料が残高を上回り、マイナスになったり、口座が自動で解約されてしまう恐れもあるので注意しましょう。

### 不正利用される可能性がある

銀行口座を長期間放置していると、オレオレ詐欺や還付金詐欺といった犯罪に悪用されるリスクが高まります。定期的に記帳したり、残高を確認していないため、第三者によって不正に利用されても気づくまでに時間がかかるケースも多いようです。犯罪に巻き込まれないためにも定期的な管理が重要です。

### ゆうちょ銀行の定期貯金は要注意！

平成19年9月30日以前(ゆうちょが民営化される前)に預け入れた定額郵便貯金、定期郵便貯金、積立郵便貯金については、満期後20年2か月を経過してもなお、払い戻し請求がない場合、旧郵便貯金法の規定により、預金の権利が消滅し、払い戻しができなくなる場合があります。

長期間放置しているゆうちょ銀行の口座をお持ちの場合は、早めに確認しましょう。

参考:ゆうちょ銀行 HP “長期間ご利用のない貯金のお取り扱いについて”

[https://www.jp-bank.japanpost.jp/kaisetu/basicinfo/kat bi specialsystem.html](https://www.jp-bank.japanpost.jp/kaisetu/basicinfo/katbi specialsystem.html)

長期間放置し、休眠口座として管理されても預金の引き出しは可能です。しかし、引き出す際の手続きが煩雑になり、窓口での対応になるなど不便な点が多くなってしまいます。そのため、不要な口座は早めに解約し、残高のある口座は定期的に確認し、管理するようにしましょう。詳しくは口座をお持ちの各金融機関にお問合せください。

### 【関連リンク】

金融庁 “長い間、お取引のない預金等はありませんか？”

<https://www.fsa.go.jp/policy/kyuminyokin/kyuminyokin.html>

内閣府 “休眠預金等活用制度について”

[https://www8.cao.go.jp/kyumin\\_yokin/seido/seido.html](https://www8.cao.go.jp/kyumin_yokin/seido/seido.html)



## ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。  
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



### ～今月の一冊～

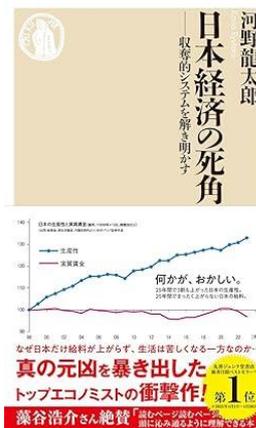
## 日本経済の死角 —— 収奪的システムを解き明かす (ちくま新書 1840) 新書 - 2025/2/7 河野 龍太郎 (著)

今月は、日本経済の長期停滞の原因について解き明かした一冊をご紹介します。人気エコノミストである著者は、「日本の生産性は四半世紀で3割上がっているのに、なぜ実質賃金が上がらないのか、悪循環が続いているのか、真の理由を明らかにします。」と述べています。

一般的に日本経済が停滞して実質賃金が上がらない理由として、生産性が低いからという理由が挙げられていますが、実は生産性は3割も上昇しているのに、主要先進国の中で日本だけ実質賃金が上がっていないという衝撃的な事実を明らかにした上で何が原因かをわかりやすく解き明かし、日本経済の死角になっている問題点と改善策を提示してくれています。

昨今、世界経済における日本経済の地盤沈下や相対的な経済力・購買力の低下については、輸入物価の高騰やインバウンド旅行者の増加、内外価格差など日々のニュースフローや生活の中で実感されていると思います。また、株価や大企業の業績と日本企業の99.7%を占める中小企業の景況感と庶民の生活実感の乖離が以前よりも広がっているのはなぜか？その要因についても明らかにしています。

今月20日に参議院選挙が行われますが、日本の将来を真剣に心配されている方は、日本経済の現状を新たな視点から理解しておくために本書を一読することをおすすめいたします。



## 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落としを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2025年 7月分	6月5日(木)	6月25日(水)	7月7日(月)	7月15日(火)	7月17日(木)
2025年 8月分	7月3日(木)	7月25日(金)	8月6日(水)	8月18日(月)	8月20日(水)
2025年 9月分	8月5日(火)	8月27日(水)	9月8日(月)	9月17日(水)	9月19日(金)
2025年 10月分	9月4日(木)	9月24日(水)	10月6日(月)	10月15日(水)	10月17日(金)

## ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

7月4日(金)	独立記念日	ニューヨーク	8月4日(月)	銀行休業日	アイルランド
8月15日(金)	聖母被昇天祭	ルクセンブルグ	8月25日(月)	銀行休業日	ロンドン

## ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.35% ± 0.15% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

- 【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

### ■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

### <免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

